



こんにちは!

# 市議員 井坂博文 です



連絡先/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町 78 / 電話 432-3261 / FAX441-4968

## 連休で広島に帰省し 考えた。。。

広島の実家に2日〜4日まで妻と帰省。2日はあいにくの雨、失業中の弟の仕事探しに付き合っってハローワークに。初めてパソコン操作による仕事紹介を検索してみた。紹介は無数にあるのに、自分にあてはめて勤務形態、年齢、給料、など最低限の希望をチェックしていくと、うんと少なくなる!希望する仕事に就けない現実を実感した。

3日は朝から晴れて絶好の農作業日和。私はいつもの草刈り、庭から家の周りの道端まで。雑草には申し訳ないが、さっぱりときれいになった。

昼休みに近くの山とあぜ道で山菜とり。威力を発揮するのが、先を割って挟めるように加工して手の届か



しかし、田舎の生活は色々ある。家の周りはきれいになったが、わが家の田んぼは圃場整備をしたにもかかわらず休耕田で草が生えて荒れ放題。ようやくひとつだけNPO農業法人がコメづくりをしてくれている。荒れてスキが生えている田んぼを見ると悲しくなる。

## メーデーに参加して

今年の全京都統一メーデーは久しぶりに汗ばむほどの好天気。

私が初めて参加したのは、1974年に立命館大学に入学し民青に入ったばかりの時、大学の先輩たちに誘われて参加。「労働者の祭典」にみんなで学生が参加するの不思議だったが、青空のもと都大路を歩いたのは新鮮な感動だった。

翌年1975年4月30日、アメリカ支配下の南ベトナム・サイゴン(今のホーチミン市)が解放されて、南北に分断されていたベトナムが統一された。翌日に開かれたメーデーはその勝利を歓迎する大きな熱気に包まれた!  
あれから半世紀が経とう



とするなか、朝鮮戦争による朝鮮半島の不幸な分断から歴史的な南北統一が進もうとしている。歴史はいくつかのジグザグはあつても前に進む。そして「働く者の団結」をスローガンに掲げるメーデーの意義はますます大きくなっている。

北コースの堀川下立売通橋の上で倉林参議院議員・党市会議員・府会議員そろって参加者を激励した。

## 「風をよむ」

日曜朝のサンデーモーニング、番組の最後はシリーズ「風をよむ」。4月29日は5月3日の憲法記念日を前に、憲法と平和、軍備と核兵器がテーマ。

紹介されたのはコスタリカ。1949年に憲法に「軍隊の放棄」を掲げ、その後も大統領はアメリカからの軍備増強の圧力を受けながらも跳ね返してがんばっている。アメリカいいなりの日本の安倍外交と比べて実に頼も



しい。さらに記憶に新しいのは、昨年核兵器禁止条約を採択した国連会議の議長を務めたのはコスタリカのホワイト国連大使だった。本来は日本の政府がやらなければならぬ仕事だ。

## 「朝鮮半島の完全なる非核化」へ大きな一歩

南北首脳会談がひらかれて共同宣言が発表され、その中で「朝鮮半島の完全なる非核化」が明記された。これまでの経過から「手放して評価できない」という声がある。わからないわけ

に向けても一歩を踏み出したことを注目したい。平和条約が結ばれたら、今の6者協議から6カ国協議になり、朝鮮半島とアジアの平和に大きな力になる。それにしても、「圧力一

ではないが、「出発点に立つただけ」と見るのではなく、「大きな一歩を踏み出した」と見るべきではないだろうか。今後を期待して注目したい。同時に、朝鮮戦争以降の休戦状態から戦争終結

辺倒」の安倍首相と日本政府が蚊帳の外に置かれていく。「歓迎する」との安倍首相のコメントが虚しく聞こえる。歓迎するのであれば、明確な行動と役割を發揮するべきだ(4月27日)。